

資源リサイクルで「地球に優しい化学」



新興化学工業株式会社

樹脂・化学

(バナジウム、セレン、テルル、インジウムの回収リサイクル、バナジウム化合物、高純度セレン、テルル、インジウムの製造、セレン化合物の製造)

事業概要と躍進の契機

国内で初めてバナジウムを生産

同社は、昭和13年に設立され、当初は軍事物資としてフッ化アルミニウムの製造をしていたが、敗戦により業態を転換、製粉事業(その後撤退)やセレン、バナジウムの生産を開始した。また、火力発電所から出る重油燃焼

Turning Points

残渣から国内で初めてバナジウムを生産することに成功。現在は、エチレンプロピレンゴム製造用触媒の塩化バナジウムは世界一の製造量である。

会社の強み・主力商品など

セレン化合物のトップメーカー

同社では、主として銅メーカーから発生する粗セレンを主原料とし、製錬から製品化までの一貫生産を行っており、セレン化合物に関しは、日本のトップメーカーである。特にセレンやテルル、インジウムなどの各種レアメタル

Strength

のスクラップ等からの回収精製について、回収過程で発生する廃棄物の再資源化も含めたりサイクル技術を確立しており、そのリサイクル技術は高く評価されている。

今後の事業展開

セレンの用途開発

セレンの用途は、複写機用感光体、自動車のUVカットスモークドガラス、工芸ガラス(赤色、黒色)、ステンレス、次世代太陽電池(CIGS)、医療診断装置用X線センサー、

Vision

油絵の絵の具、金属表面処理剤など多彩であるが、飼料添加剤としてセレン化合物の輸出も行っている。

企業データ

所在地：〒542-0081 大阪府中央区南船場2-7-26

TEL：06-6263-6465 FAX：06-6263-6464

URL：<http://www.shinko-chem.co.jp>

設立：1938年(昭和13年)

代表者：取締役社長 新居田 孝太郎

従業員：80名

資本金：1億円

